

# 日本甲虫学会第7回大会プログラム

大阪市立自然史博物館

2016年11月26日（土）・27日（日）



日本甲虫学会第7回大会実行委員会

大会会長： 林 靖彦

実行委員会： 澤田義弘（委員長），安藤清志，伊藤建夫，伊藤 昇，  
奥田好秀，初宿成彦，谷角素彦，野村英世，安井通宏，山内健生

# 大会日程

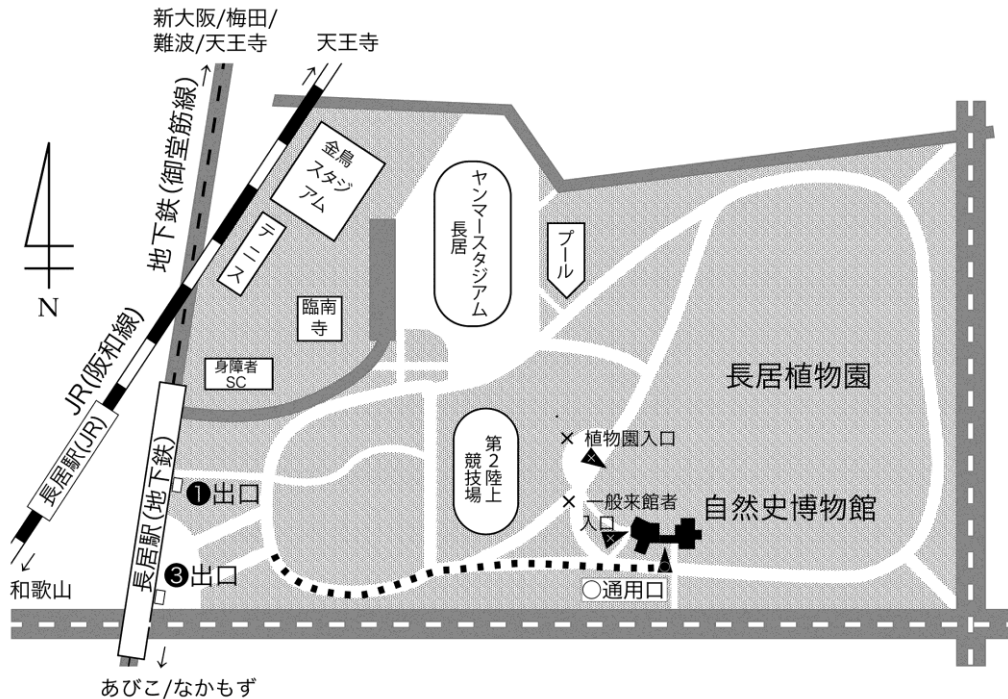
(時間や会場は変更になることがあります)

## ・ 1日目：11月26日 (土)

- 09:30 ~ 大会受付開始
- 10:00 ~ 12:00 評議員会(㊟新実習室)
- 13:00 ~ 14:45 公開講演会「関西甲虫研究史」(㊟講堂)
- 15:00 ~ 16:15 研究発表(口頭)1(㊟講堂)
- 16:30 ~ 17:45 総会・学会賞授与式・受賞講演(㊟講堂)
- 18:00 ~ 20:00 懇親会

## ・ 2日目：11月27日 (日)

- 09:30 ~ 11:00 甲虫標本同定会(公開)・ポスター研究発表(公開)  
(㊟ネイチャーホール)
- 11:00 ~ 12:00 研究発表(口頭)2(㊟講堂)
- 13:00 ~ 15:00 研究発表(口頭)3(㊟講堂)
- 15:10 ~ 16:10 分科会・前半(雑甲虫 ㊟, カミキリ㊟, ゴムムシ㊟)
- 16:20 ~ 17:20 分科会・後半(水生甲虫 ㊟, ゴウムシ㊟, ハネカクシ㊟)



一般来館者入口ではなく、**南側の通用口**からお入りください。

## 連絡事項

＜参加申込＞当日参加も可ですが、できるだけ事前にさやばね最新号または甲虫学会ホームページの参加フォームを使って、早めにお申込みください。人数把握にご協力をお願いします。

＜受付＞11月26日(土)9:30から、メイン会場入口付近で受付を始めます。大会参加費と懇親会費をお支払いください。なお、新年度の会費も受け付けます。

＜名札＞大会参加証です。開会中は大会会場のほか、展示室での展示見学や植物園内へもお入りいただけます。館内では常に着用してくださるようお願いいたします。なお、2日目のお帰りの際は、名札は受付へお返しください。

＜懇親会＞館内ナウマンホールで第1日目の18:00から開催します。当日での新規お申込みについては、お断りする場合がありますので、できれば事前にお申込みください。

＜休憩室＞新実習室①(全日)と集会室⑤(分科会時間帯以外)・会議室⑧(同)が休憩室です。

＜喫煙＞館内、敷地内ふくめ、すべて禁煙です。喫煙所への案内は⑩の位置に案内が貼ってあります。

＜昼食＞事務局では弁当などの準備はしませんので、各自でご用意ください。カフェテリア「フォレスト」もありますが、座席数は多くありません。長居駅までの間に、ファーストフード、コンビニ、ファミレスもありますが、弁当ご持参で休憩室(上記)でとられることをお勧めします。

＜同定会＞第2日目の9:30からネイチャーホールで一般公開にて行います。甲虫学の後進育成に鑑み、大会参加のみなさまには広くご協力をお願いいたします。見てもらう標本をお持ちの際は必ず、マウントし、データラベルを付けてください。また、同定を担当いただける方は、同定ラベル、同定資料などご持参ください。図鑑は限りがあります。実体顕微鏡は出来る限りの数を準備します。

＜評議員会＞評議員の方は、第1日目の午前10時から、新実習室①にて評議員会を開催しますので、お越しください。

＜研究発表者・分科会世話人へ連絡＞

- 口頭発表は質疑含めて15分です。発表会場のパソコンはOSがWindows10、ソフトはPowerPoint2010です。ご持参のパソコンやスマホも使用可とします。MacやHDMI経由の場合は各自の対応アダプタを必ず持参してください。
- ポスターは幅90cm×高さ180cmのスペースを用意いたしますので、それに収まるよう作成してください。公開としていきますので、できれば1日目朝から貼付していただきたいですが、少なくとも2日目午前のセッションの時間帯は、必ず貼っておくようにしてください。郵送による事務局(会場担当)の代理貼付も受け付けます。
- 分科会は2部制にしているため、時間厳守をお願いします。プロジェクターは事務局で準備しますが、講堂④(雑甲虫、水生甲虫を予定)以外はパソコンがありませんので、各世話人で準備するか、事務局にご相談ください。

## 【公開講演会】 1日目：13:00～14:45 (㊤講堂)

「関西甲虫研究史」

近畿甲虫同好会の創立初期から関わった澤田高平氏、関西甲虫談話会を現在も運営する水野弘造氏らによる、講演や討論を行います。関西での甲虫研究を振り返り、若手育成など、将来への課題を探ります。

- ・基調講演：澤田 高平 (高槻市) 「関西甲虫研究史 - 旧甲虫学会興隆期を語る」

## 【論文賞記念講演】

演者・演目：当日のご案内となります。

## 【一般講演：口頭発表】

### 1 日目 15:00～16:15 (㊤講堂)

- O-1 ○河上 康子(大阪市博・外来研), 山崎 一夫(大阪市環科研), 大橋 和典(豊中市)  
ダンダラテントウ大阪個体群の季節消長と寄主利用
- O-2 棚橋 薫彦(産業技術総合研究所・学振 PD)  
クワガタの酵母はどこから来たのか?
- O-3 野村 周平(国立科学博物館)  
ハネカクシ上科甲虫における後翅基部前縁微細構造の走査型電子顕微鏡(SEM)観察
- O-4 牧田 習(北大)  
日本・台湾産コブゴミムシダマシ科Zopheridae に関する知見
- O-5 丸山 宗利(九大・博物館)  
アジア産ヒゲブトオサムシ族の分類の進歩

### 2 日目 11:00～12:00 (㊤講堂)

- O-6 瑤寺 裕(東農大・農・昆虫)  
日本産チビタマムシ族における雌雄交尾器の比較形態学的研究
- O-7 ○荒谷 邦雄・細谷 嗣・小田切 颯一・楠見 淳子(九大・院・比文)  
ペット甲虫類をめぐる国内外来種問題の現状
- O-8 林 成多(ホシザキ野生生物研究所)  
走査型電子顕微鏡によるヒドロムシ科幼虫の体表構造の観察
- O-9 ○久保田 耕平(東大・院農), 曾田 貞滋(京大・院理)  
RAD シーケンス法による日本産ルリクワガタ属の系統解析

### 2 日目 13:00～15:00 (㊤講堂)

- O-10 ○朱 雪姣(東大・院農), 金 鍾國(江原大学校・森林環境保護), 久保田 耕平(東大・院農)  
Phylogeography of *Platycerus hongwonpyoi* (Coleoptera, Lucanidae) in South Korea based on mitochondrial COI gene
- O-11 ○蔡 正隆(国立中興大学・昆虫), 東大・院農), 久保田 耕平(東大・院農), 葉 文斌(国立中興大学・昆虫)  
Population structure and genetic differentiation of a widespread lineage in *Neolucanus swinhoi* complex (Coleoptera, Lucanidae) across Taiwan Island
- O-12 ○小林 卓也, 曾田 貞滋(京大・理学・動物生態)  
菌食甲虫ツヤツツキノコムシの分子系統と地理的分布, 形態, 寄主利用パターン
- O-13 池田 大(愛媛大・農・環境昆虫研)  
雄交尾器内袋骨片形質に基づいた Apalochrini 族(コウチュウ目:ジョウカイモドキ科:ジョウカイモドキ亜科)の再検討

- O-14 ○伊藤 哲成, 吉富 博之(愛媛大・農・環境昆虫研)  
日本と台湾に生息するデバヒラタムシ属(コウチュウ目, デバヒラタムシ科)について
- O-15 ○十川 晃一, 吉富 博之(愛媛大・農・環境昆虫研)  
日本産ツヤテントウダマシ属*Lycoperdina*(テントウダマシ科:オオテントウダマシ亜科)の分類学的再検討
- O-16 草野 憲二(郡山市)  
福島県いわき市におけるカワラハンミョウの生息状況について
- O-17 ○荏部 治紀(生命の星・地球博物館)・森 英章・オガサワラハンミョウ再導入プロジェクトチーム  
オガサワラハンミョウの域内・域外保全の現状について

### 【ポスター発表】 (㊤ネイチャーホール) コアタイム 2日目 9:30~11:00

- P-1 初宿 成彦(大阪市立自然史博物館)  
近畿における2016年までのヒラズゲンセイの分布
- P-2 ○亀澤 洋(川越市), 浅野 真(帝装化成), 野村周平(国立科学博物館)  
日本産 *Ebaeini* 族(ジョウカイモドキ科)の種構成について
- P-3 ○安井 通宏, 初宿 成彦, 大阪市立自然史博物館淀川水系調査グループ甲虫班  
淀川汽水域におけるミズギワゴミムシ類の生息環境と発生量について
- P-4 土岐 和多瑠(京大・生態学研究センター)  
ホホビロコメツキモドキ属(オオキノコムシ科コメツキモドキ亜科)における頭部の非対称性と産卵基質の関係
- P-5 ○鈴木 良芽(九大・院・地社), 荒谷 邦雄(九大・院・比文)  
ノコギリクワガタの雄は, どのくらいで敗北から立ち直るのか
- P-6 大阪ヤマトオサムシダマシ保存会  
大阪市立自然史博におけるヤマトオサムシダマシの保全活動
- P-7 ○高谷 佑生, ○岡 祐達, ○丹羽 光一郎, ○山田 龍牙, 池永 明史, 水谷 誠(清風中学・生物部)  
八尾市高安地域における地表性昆虫の調査
- P-8 細谷 忠嗣(九州大学決断科学センター)  
日本産コガネムシ上科甲虫 DNA バーコーディングプロジェクトの進行状況 その2
- P-9 ○塚本 瑠一(京都市), 西台 律子(日本鳥学会)  
京都御苑のコウチュウ類・宗方神社に営巣するアオバズクの食痕からの考察

### 【分科会】

#### ◎雑甲虫分科会 (世話人: 生川 展行) 2日目 15:10 ~ 16:10 (㊤講堂)

- D-1 亀澤 洋(川越市)  
日本産 *Scaptia* 属(ハナノミダマシ科ハナノミダマシ亜科)について
- D-2 平野 幸彦(小田原市)  
日本産 *Stephostethus* 属(ヒメマキムシ科)の再検討- ムナボソヒメマキムシの正体を探る

#### ◎カミキリ分科会 (世話人: 山迫 淳介) 2日目 15:10 ~ 16:10 (㊤集会室)

- D-3 松田 潔(大阪府大・農)  
ベトナム南部のカミキリムシ

#### ◎ゴミムシ分科会 (世話人: 伊藤 昇) 2日目 15:10 ~ 16:10 (㊤会議室)

- D-4 森 正人(環境科学大阪株式会社)  
兵庫県のゴミムシ最近の話題

◎水生甲虫分科会 (世話人: 吉富 博之, 林 成多) 2日目 16:20 ~ 17:20 (㊦講堂)

D-5 ○小林 卓也, 曾田 貞滋(京大・理)

日本産ヒメドロムシ科の系統解析

◎ゾウムシ分科会 (世話人: 的場 績) 2日目 16:20 ~ 17:20 (㊦集会室)

D-6 森本 桂(福岡市)

日本産イツヒゲキクイゾウムシ族Pentarthrini の概要

D-7 佐藤 隆志

日本産ホソクチゾウムシ科について

\*他に 2017 年度JWIN 調査会の日程についての検討

◎ハネカクシ分科会 (世話人: 野村周平) 2日目 16:20 ~ 17:20 (㊦会議室)

D-8 野村 周平(国立科博), 亀澤 洋(川越市)

伊豆諸島産アリヅカムシ相の新知見

## 日本甲虫学会・大阪大会 開催記念展示 「関西甲虫研究史」 を開催します



G. ルイス氏

関西には古くから町人文化が根付いており、甲虫の研究は昔も今も、おもにアマチュア研究者らによって進められてきました。1945年に創立された日本甲虫学会もその一つで、甲虫学の発展と甲虫研究者および愛好者の交流を目的として、機関誌の発行、年次大会、地方例会、および調査観察例会を開催しています。

日本甲虫学会・大阪大会の開催を機に、関西における甲虫研究の歴史を振り返る展示を行います。

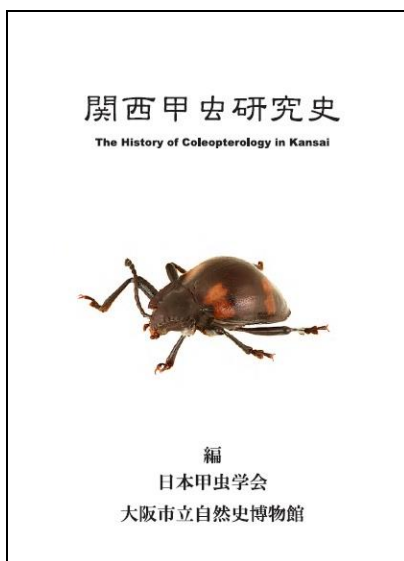
○会 期 平成28年11月26日(土)～平成29年1月31日(火)

※開館時間:9:30～16:30(入館は16:00まで)

○休館日 月曜日(ただし、月曜日が休日の場合はその翌日)

○会 場 大阪市立自然史博物館 本館2階イベントスペース

## 大阪大会・記念 冊子「関西甲虫研究史」のご案内



今大会では、「関西甲虫研究史」と題した公開講演会と展示会を開催します（展示は1月31日[火]まで開催）。このたび、74ページの冊子「関西甲虫研究史」を制作し、大会参加の方には配布いたします。

本学会会員（2016年度会費納入者）の大会不参加の方で、ご希望の方には、PDFの電子ファイルをメールによって、または印刷冊子を着払い（180円＋手数料21円）またはお申込み時に切手180円同封によって、お送りします。また、12月10日、3月25日の大阪例会、展示室内ギャラリートーク（初宿担当：12月17日、12月24日、ともに12:30～12:55、要入館料）においていただける方には、手渡しによる対応をいたします（できるだけ事前にご連絡ねがいます）。最終メ切を2017年4月30日とさせていただきますが、冊子は残部が無くなり次第、終了としますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。

### お申込み方法

- ・【PDFを電子メールで】 標題に「関西甲虫研究史PDF希望」と書いて、お名前、電子メールをお知らせください。PDFを開くにはパスワードが必要ですが、返信メールにてお知らせします。
- ・【冊子を着払いで】 電子メール、はがき、FAXにて、「関西甲虫研究史希望」と書いて、お名前、送り先をお知らせください。受取時に送料＋手数料の201円を郵便配達員にお支払いください。
- ・【冊子を返信用切手で】 封書に180円切手を同封の上、「関西甲虫研究史希望」と書いて、お名前、送り先をお知らせください。

### 申込先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 大阪市立自然史博物館 初宿成彦  
電子メール：[shiyake@mus-nh.city.osaka.jp](mailto:shiyake@mus-nh.city.osaka.jp)  
FAX：06-6697-6225

